

令和 7 年度全国各地の魅力的な文化財活用推進事業  
**事業概要のご案内**

---

# 目次

---

1

## 事業概要

- 事業概要
- 事業目的
- 補助の対象
- 審査の観点
- 伴奏支援について
- 全体スケジュール

2

## 応募様式のご案内

# 全国各地の魅力的な文化財活用推進事業

令和7年度予算額（案）

774百万円（国際観光旅客税財源）



機能強化した京都の文化庁が伴走し、文化財を高付加価値化して活用するためのコンテンツ造成を支援します！

## 背景・課題

- インバウンドの地方誘客を進める上では、我が国の宝である文化財は観光立国推進の切り札であるが、
  - これまで活用に取り組んでいない文化財の掘り起しや、
  - これまでない内容・方法で堪能できるコンテンツなど高付加価値旅行者の知的好奇心を満たすような上質で思い切った活用が進んでいない。
- 文化庁京都移転を契機として、文化庁ならではの地方創生を実現するため、官民連携により文化財の高付加価値化を推進する必要。

## 事業内容

- 国宝・特別史跡などの国指定等文化財について、上質で思い切った活用（特別な歴史体験、夜間活用、ユニークベニュー等）を図り、インバウンドの旺盛な知的好奇心を満たす高付加価値なコンテンツ造成を実施し、活用から保存への再投資を図る。
- その際、活用が表面的なものに終わらないよう、文化庁（本質的価値との両立等の観点）や専門家（具体的な活用プランや資金調達等の観点）が伴走支援を行いつつ、所有者等の意識改革のためのセミナー等を実施するなど、パッケージで取組を推進。

文化庁

補助

伴走支援



- 文化財調査官による専門的助言（本質的価値と活用の両立等の観点）

委託

事務局



- セミナー開催
- 成果とりまとめ
- コーチング（将来的な商品化の観点）

文化財所有者等

事業者

文化財所有者、管理団体、  
地方公共団体、  
民間事業者またはこれらによって  
構成される協議会 等

主な  
要件等

- 国指定等文化財を核とした  
コンテンツであること
- 活用から保存への再投資を図る  
仕組みを可視化すること

補助率

補助対象経費の1/2、  
条件に応じて最大2/3まで加算

事業期間

単年度

取組イメージ

特別な歴史体験

京都府 | 二条城



二之丸御殿においてAR・VRを活用し、大政奉還を多言語で再現することで、史実に基づく歴史体験（Living History）を提供。

夜間活用

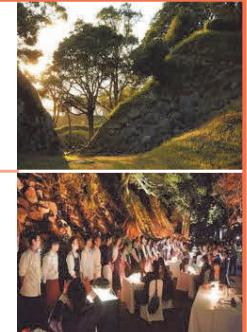
愛媛県 | 大洲城



復元された木造天守に宿泊し、滞在を通じて地域の伝統芸能・工芸・食を堪能。雇用創出・文化財への収益還元を実現。

ユニークベニュー

佐賀県 | 名護屋城跡

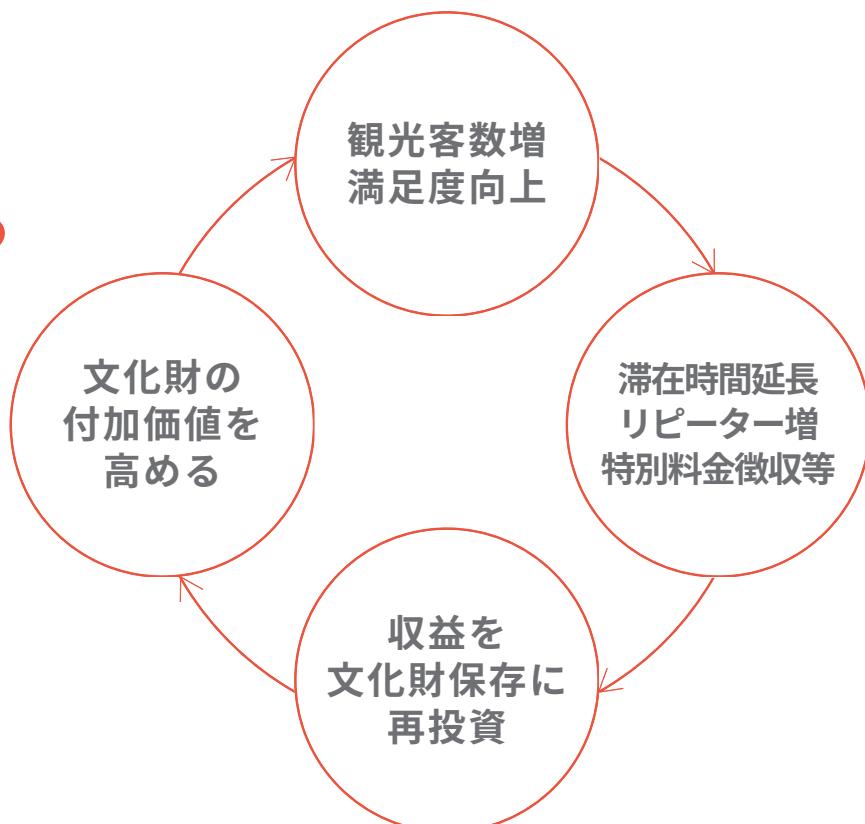


城跡で地域の食材や有田焼を活用した野外レストランを実施、厳しい規制のかかる特別史跡の積極的な活用に挑戦。

## 全国各地の魅力的な文化財活用推進事業

### 文化財を「活用」し 「保存」への再投資を図る

本事業は、文化財を高付加価値化し、活用から保存への再投資を図ることによって持続可能な保存・活用の好循環の創出をすることを目的としています。



## 事業のポイント

---

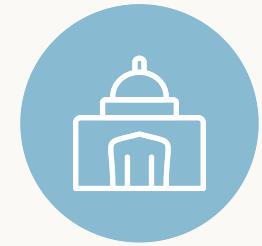
- ① 国指定等文化財（世界文化遺産、日本遺産を含む）を活用し、当該文化財の高付加価値化を図る
- ② インバウンドをはじめとする国内外の知的好奇心旺盛な旅行者に文化財の本質的価値を伝える体験等の造成や販売等を支援
- ③ 文化庁や、専門家によるコーチング（改善指導）の伴走支援
- ④ 補助対象経費の**1/2** 条件に応じて**最大2/3**まで加算

## 補助の対象となる申請者（補助事業者）

補助事業者は、所有者、管理団体、地方公共団体、民間事業者またはこれらで構成される協議会等とします。



法人



地方公共団体



協議会等

所有者、管理団体、民間事業者等

※協議会等は、補助対象事業を実施するために必要な運営上の基盤を有する、次の4つの要件を満たすことを条件とします。

- ・定款に類する規約を有すること。
- ・団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。
- ・自ら経理し、監査する会計組織を有すること。
- ・活動の本拠となる事務所等を有すること。

※補助事業者が対象文化財の所有者又は管理団体でない場合、**所有者の同意を得るとともに、各自治体の文化財担当者や学芸員等へも必ず事前に説明を行ったうえで申請すること。**

## 補助の対象となる事業

補助対象となる事業は、次の1～4全てを満たすこととします。

- 1 国指定等文化財（世界文化遺産、日本遺産を含む）を核として当該文化財を高付加価値化し、活用から保存への再投資を図ることによって持続可能な保存・活用の好循環を創出する事業であること。
- 2 対象文化財が、観光振興事業費補助金交付要領別表で定める市区町村、または、訪日外国人旅行者の来訪の見込みがある市区町村に存在すること。  
※詳しい条件は応募要領をご確認ください
- 3 外国人観光客の入れ込み数の目標値及び計測方法を設定していること。ただし、有識者により外国人観光客の入り込み数の目標値及び計測方法の妥当性を検証し、適当でないものについては、目標値修正等のうえ条件付き採択を行うこととする。
- 4 対象文化財又はその周辺において、Wi-Fi、多言語、キャッシュレス対応や洋式トイレ等の受け入れ環境の整備が出来ている又は事業年度中に整備する計画があること。

# 国指定等文化財（世界文化遺産、日本遺産含む）とは

世界遺産  
日本遺産  
国宝（建造物）  
国宝（美術工芸品）  
重要文化財（建造物）  
重要文化財（美術工芸品）  
重要無形文化財  
重要有形民俗文化財  
重要無形民俗文化財  
特別史跡  
国指定史跡  
特別名勝  
国指定名勝  
特別天然記念物  
国指定天然記念物  
重要文化的景観  
重要伝統的建造物群保存地区  
国登録有形文化財（建造物）  
国登録有形文化財（美術工芸品）  
国登録有形民俗文化財  
国登録無形民俗文化財  
国登録記念物  
記録作成等の措置を講ずべき無形の民族文化財  
記録作成等の措置を講ずべき無形文化財



“核となる文化財”を中心に、ストーリー的に関連する複数箇所で実施することも可能です(例:日本遺産の構成文化財)。

参照：文化財の体系図

## 審査の観点

応募書類は、有識者を含む委員会において以下の項目に基づいて総合的に評価を行います。

審査の観点	コンテンツ造成	<ul style="list-style-type: none"><li>インバウンドの高付加価値旅行者をはじめとする国内外の知的好奇心旺盛な旅行者が、その文化財の成り立ち（なぜその場所でその文化や自然が生まれたのか等）や、それを守ってきた人々の取組等を理解しながら、より深く楽しむことができるような体験等の造成であること。※</li></ul>
事業効果	事業効果	<ul style="list-style-type: none"><li>増えた収益を文化財の修理に充てるなど、<b>活用から保存へ再投資を行い好循環を創出する事業内容</b>となっていること</li><li>訪日外国人観光客の誘客にも<b>資する事業内容</b>となっていること（ターゲット設定、多言語対応、便益設備、販路開拓等）</li></ul>
事業の実施体制	事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>将来の自走化に向けて、<b>今年度の実施体制が適切に計画されていること</b></li><li>文化財所有者はもとより、<b>地方公共団体（文化財、まちづくり、観光等の部局）、観光地域づくり法人（DMO）、交通・飲食・宿泊事業者等の関係者との連携を目指していること</b></li></ul>

※ 一般公開だけ行ってきた文化財において、継続して提供できる体験コンテンツの造成等を想定

## 伴走支援について

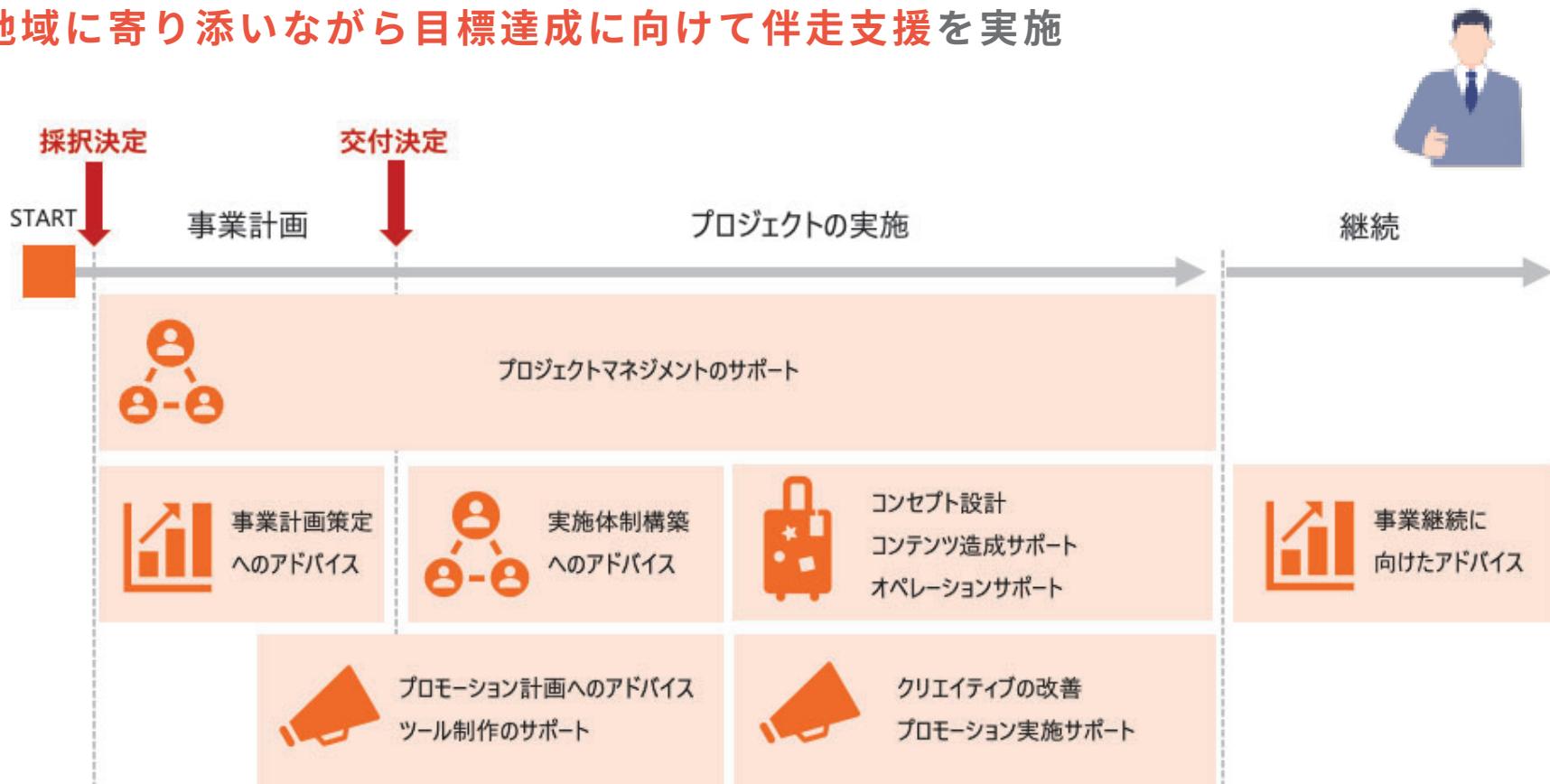
活用が表面的なものに終わらないように、文化庁(本質的価値との両立等の観点)や専門家・コーチ(具体的な活用プランや資金調達等の観点)で伴走支援を行います。



※ご提出いただいた応募様式A（事業計画書等）の内容を基に、文化庁が指摘する項目・コーチング内容を付け加えていただき、アドバイス内容を交付申請書に反映して提出をしていただきます。交付申請書提出時に、事業計画の内容の変更が生じる可能性があることを予めご理解いただきご応募ください。

## コーチによる伴走支援のイメージ

採択事業者が抱える観光活用の課題に対して専門的な知見を有したコーチが  
地域に寄り添いながら目標達成に向けて伴走支援を実施



## 様式記入にあたって

### 採択決定～交付決定までにコーチング実施をします

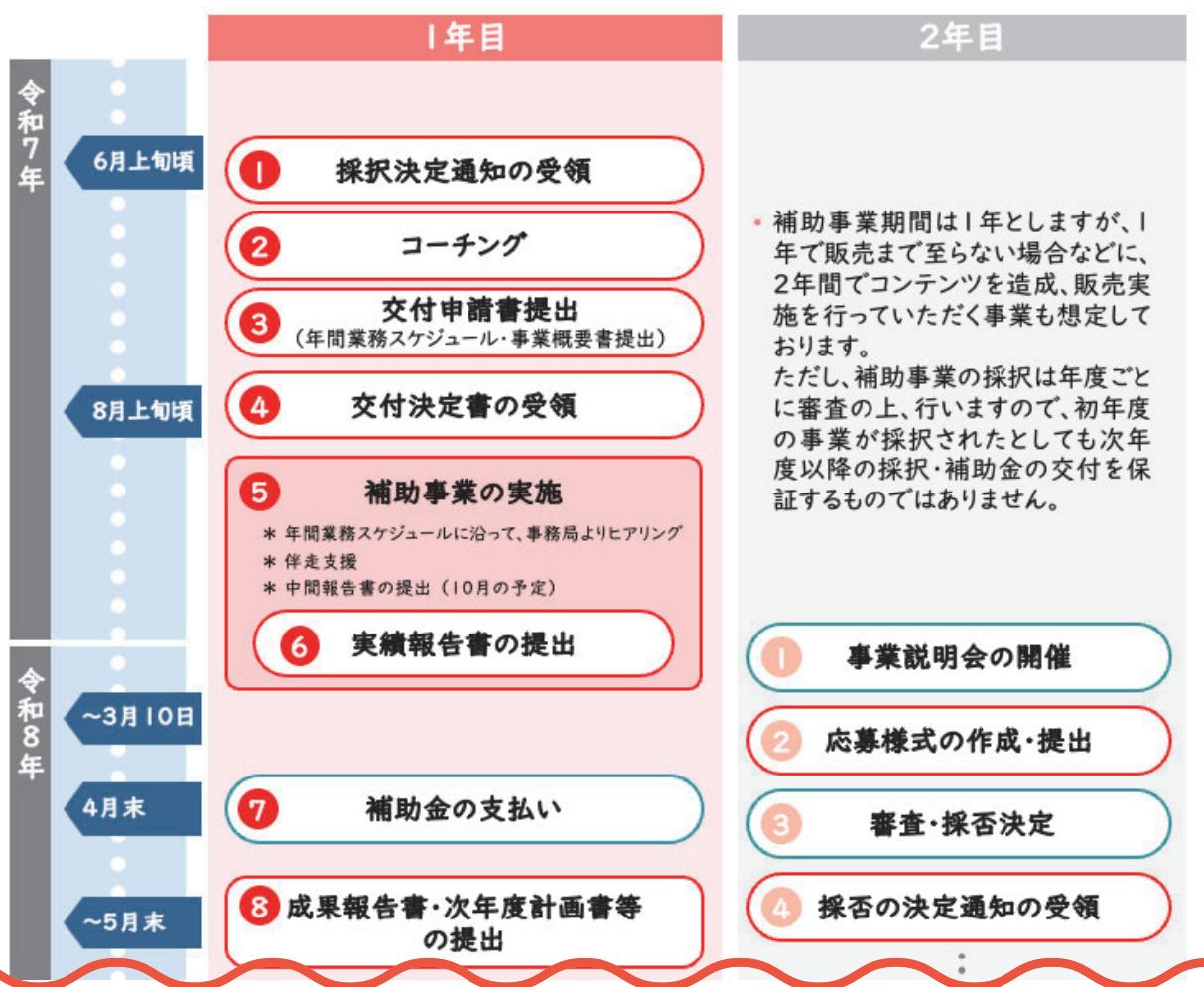
ご提出いただいた**応募様式A（事業計画書等）**を基に、文化庁が指摘する項目やコーチング・アドバイス内容をふまえて**交付申請書**を提出していただきます。



#### コーチによる伴走支援でブラッシュアップする例

- ・文化財の本質的価値と活用の両立等の観点による助言
- ・高付加価値化のポイントの見直し
- ・収益を文化財に還元されるポイントの見直し
- ・販路開拓、情報発信などの検討
- ・指標や目標値の設定
- ・訪日外国人のターゲット設定など

# 全体スケジュール（イメージ）



## 公募受付

令和7年3月3日(月)～  
令和7年4月11日(金)17:00×

2

## 応募様式のご案内

# 応募に必要な書類

## 応募様式A

- 交付要望書（応募様式A－0）
- 補助事業者の概要（応募様式A－1）
- 事業計画書（全体）（応募様式A－2）
- 事業計画書（コンテンツ別）（応募様式A－3）
- 補助事業者の事業規模指標に関する書類（応募様式A－4）

## 応募様式B

- 収支予算書（応募様式B－1）
- 支出内訳明細書（応募様式B－2）

## 応募様式C

- 同意書・誓約書（応募様式C）※1

## 応募様式D

- 事業概要書（応募様式D）

## 様式任意

- 見積書※2
- 応募様式A－4の根拠となる書類  
(例：損益計算書、正味財産増減計算書)

- 提出書類について、必要に応じて上記以外の書類の提出を求める場合があります。
- 書類は補助金交付の対象となる者（補助事業者）が作成してください。関係のない者（委任契約に基づく委任関係にある者を除く。）が作成していることが明らかな場合は不採択となることもあります。
- 応募様式A－2、A－3に記載のコンテンツ内容や事業推進にあたって参考とする史料（歴史研究や調査の材料となる文献や遺物など）については、任意で資料をご追加ください。

※1

- 発注予定金額が50万円（税込み）以上の場合に見積書を徴取して添付。
- 発注予定金額が100万円（税込み）以上の場合は、複数者から徴取した見積書を添付。
- 複数者から見積書を徴取できない場合は、理由書（様式任意）を添付。
- 見積書は写しを添付（原本は、申請者において保管すること）。

※2

- 同意書については補助事業者と文化財所有者又は管理団体が異なる場合に提出ください。

## 様式記入のポイント －（A-0）交付要望書－

着手日：採択通知日となりますので申請時点は空欄で良いです

事業の名称					
補助事業の着手及び 完了の予定期日	着 手	年	月	日	
	完 了	年	月	日	
補助金の交付要望額	(補助対象経費 円 円 の補助率 1/2 )				

補助率は自動入力されます

応募様式B－1の収支予算書の「補助対象経費」の額を記載してください

応募様式B－1の収支予算書の「本事業による補助金の交付要望額（C）」の額を記載してください

# 様式記入のポイント －（A-1）補助事業者の概要－

(ふりがな)	○○かぶしきかいしゃ ○○株式会社		代表者職・氏名	代表取締役 社長 山田 太郎	
団体名					
所在地	〒602-8959 京都府京都市上京区下長者町通新町西入戸之内町85番4 <b>代表申請者について記入してください</b>				
担当者部署	コンサルティング部		電話番号	075-123-4567	
担当者氏名	鈴木 太郎		E-mail	suzuki@mail.com	
団体設立年月	2010年 4月	法人設立年月	2010年 4月	法人番号	5150000000000
組織	役職員		団体構成員及び加入条件等		
	実施主体：プロジェクトリーダー（鈴木 太郎） 委託先A：○○団体（コンテンツ造成） 委託先B：○○株式会社（プロモーション）				
連携先	団体名	担当者の氏名、役職		役割	
	団体名	担当者の氏名、役職		役割	
	団体名	担当者の氏名、役職		役割	
	文化財保有者・管理団体名		担当者氏名		
	自治体の文化財担当者(学芸員など)		担当者氏名		
	各連携先に対して、本事業の説明、連携に関する合意が取れているか			プルダウンより選択してください	

所有者の同意を得るとともに、各自治体の文化財担当者や学芸員等へも必ず事前に説明を行ってください

## 様式記入のポイント －（A-2）事業計画書（全体）－

活用する文化財のうち核となるものを記載してください

基本情報

プルダウンから選択してください

事業の名称			
核となる文化財の名称		指定等	プルダウン
文化財所有者名			
事業実施工アリ			

事業実施工アリを「○○県　市」のように記載してください。

世界遺産  
日本遺産  
国宝（建造物）  
国宝（美術工芸品）  
重要文化財（建造物）

事業の目的や、コンテンツ全体の企画内容、

文化財活用によって文化的価値をどのように伝えるか記載してください

事業内容（全体）	本事業は、創業100年前のスモールラグジュアリーホテルとして、開業後は通常立入禁止の時間帯において、建造物を専有し、住職による建造物の歴史・文化リティフパーティを愉しみながら、最後に「○○ホテル」へ歴史や文化に深く溶け込ませる。特別史跡 国指定史跡
伝えたい文化的価値	独自性：1000年前から変わらず同エリアに鎮座し、多くの時代で必要とされてきた○○地域制：時代を超えて地域住民に愛され続け、地元の方々からはシンボル的な場所であり、建造物である歴史的背景：古くは歴史的武将である○○もこの建物を愛し、戦の最中に郷土料理である○○を持込み、この場で食したと言われる

活用する文化財ならではの独自性、地域性、歴史的背景等を踏まえ、  
本事業により造成するコンテンツを通じて伝えたい文化的価値を記載してください。



専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります

## 様式記入のポイント －（A-2）事業計画書（全体）－

参照した研究資料 (史料、論文等)	都道府県や市町村の文化財保護課・博物館の報告書や、 関連する学術論文、古文書や史料など
事業内容の検証体制 (学芸員の参画等)	学識経験者や建築専門家との協働、文化財修復の専門家、歴史研究者など
高付加価値化のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・〇〇文化財にて、閉門後の時間帯で境内、建造物を専有</li><li>・住職による一般非公開の時間帯での建造物の歴史・文化の講話（多言語ガイドとのプログラム開発）</li><li>・〇〇をテーマにしたオリジナルの料理・ペアリング、ドリンク開発（MICEと宿泊VIPプランの両方を開発）</li><li>・〇〇の道沿いの絶好のロケーションや鴨川沿いで宿泊者専用川床を有するスマールラグジュアリーのホテルでの宿泊</li></ul>
収益を文化財に 還元させるポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・高単価高付加価値なVIP体験を販売することにより、建造物の使用料として収益の一部を直接的に還元し、 建造物の収入が向上され文化財の保存へ再投資、持続可能な文化財の運営に寄与する。</li></ul> <p>収益を文化財に還元させる事業モデルや仕組みについて記載してください。 本事業を通じて、文化財の価値を守り、高めていくための仕組みや 方針について記載してください。</p>

専門家・コーチによる伴走支援で助言があります



## 様式記入のポイント －（A-2）事業計画書（全体）－

### 申請時にわかる範囲で記載してください

販路開拓・情報発信に向けたツール・連携先の現状	
コンテンツが予約可能な ホームページ	※販売のものがある場合はURLを記載ください <a href="#">自社HP</a>
旅行会社（海外・国内）	・国内ランドオペレーターからの販売 ・海外インバウンドAGTからの販売
OTA等の オンライン販売プラットフォーム	・観光再始動HP
地域内の宿泊事業者	
地域内の交通事業者	
その他の連携先等	

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



## 様式記入のポイント －（A-2）事業計画書（全体）－

申請年の前年実績を基準として、事業終了から4年間で想定される目標値を記入ください。

R6の実績値について計測できていない場合は、「未計測」と記載ください。

具体的な指標及び目標値						
	R6 (実績値)	R7	R8	R9	R10	R11
指標・目標値① 【必須】	対象文化財に来訪した 観光客総数	—				
指標・目標値② 【必須】	対象文化財に来訪した 外国人観光客数					
指標・目標値③ 【必須】	本事業で造成した コンテンツの参加者総数	—				
指標・目標値④ 【必須】	本事業で造成した コンテンツの外国人参加者数	—				
指標・目標値⑤ 【必須】	本事業で造成したコンテンツの 想定売上額	—				
指標・目標値⑥ 【必須】	本事業で造成したコンテンツによる 想定利益額	—				

「対象文化財に来訪した外国人観光客数」の測定方法を具体的に記載してください。

指標・目標値② の測定方法 【必須】	
--------------------	--

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



## 様式記入のポイント －（A-3）事業計画書（コンテンツ別）－

コンテンツの名称	
コンテンツの内容	
<p>個々のコンテンツについて、実施場所、実施回数や参加人数、販売価格、実施図など、現時点で想定している内容を記載してください</p>	
コンテンツで活用する文化財 ※活用する文化財の数に応じて行を追加ください。	
名称	
所在地	
現在の当該文化財の活用状況	<p>当該文化財の活用の状況を率直にご記載ください。過去に当該文化財で文化庁・観光庁等のコンテンツ造成に関する補助金を活用した実績などあれば、その内容と事業名を簡潔に記載してください。</p>

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



様式記入のポイント - (A-3) 事業計画書（コンテンツ別）-

誘客する訪日外国人のターゲット											
ターゲット国籍・地域											
ターゲット設定理由	(A-2)具体的な指標及び目標値と整合性がとれるようにしてください										
				コンテンツの想定売上							
売上の算出 (コンテンツの想定単価×R7年度の想定参加者総数)				単価	円	× R7年度の想定参加者総数	人	=	(想定売上)	円	
具体的なスケジュール											
項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
項目例) 調査、企画、実証実験、モニター実施、ツール制作、プロモーション等											
→ノンノガ完成される時期 (年度内に終えること)				令和 年 月頃							
販売開始の目標時期				令和 年 月頃							

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



# 様式記入のポイント －（B－1）収支予算書－

区分	金額（予定を含む）	内訳	備考
収入の 中	本事業以外の 補助金・助成金	0	0
	その他収入	0	
	小計（A）	0	
交付要望額は、「(A-2) 事業計画書（全体）」の 補助率の加算要件で算出した 「補助率」をふまえた額を記載してください			
①収入合計 (A) + (B) + (C)	13,620,000	0	

区分	総事業費	補助対象経費	交付要望額	総事業費のうち自己負担額等
主たる経費	13,620,000	13,570,000	6,785,000	6,835,000
	賃金	84,000	84,000	42,000
	共済費	0	0	0

備考欄に補助金等の交付元（都道府県等）、  
当該補助金等の名称を記載ください。

補助率の加算要件は  
応募要領P9を参照してください



専門家・コーチによる伴走支援で助言があります



# 様式記入のポイント - (B-2) 支出内訳明細書 -

プルダウンで選択

経費内訳												補助対象経費	交付要望額	自己負担額等		
主たる経費 ※プルダウンから選択	支出内容	見積 備考	対象経費・ 対象外経費	単価		数量	単位	数量	単位	小計						
【報償費】	(例)運営会議有識者 (報償費内訳①)		対象経費	10,000	円	×	1	回	×	5	名	=	50,000	50,000	0	50,000
	その他 (補助対象経費外)		対象経費 対象外経費	50,000	円	×	1	回	×	1	名	=	50,000			
【備品購入費】	お皿、カトラリー等		対象経費	1,500,000	円	×	1	回	×	1	名	=	1,500,000	1,5		
【使用料及び賃料】	施設利用料		対象経費	250,000	円	×	6	回	×	1	名	=	1,500,000	1,5		
【委託費】	料理提供		対象経費	1,100,000	円	×	5	回	×	1	名	=	5,500,000	5,5		
	インバウンドガイド シナリオ、運営マニュアル制作		対象経費	4,750,000	円	×	1	回	×	1	名	=	4,750,000	4,7		

## 支出内訳明細書

※【応募様式B-1】収支予算書の詳細について、可能な範囲で記載ください。内容はコーチングにより見直しを行う場合があります。

補助対象範囲は  
応募要領P12参照してください

### 8 各費目における単価上限、補助対象範囲等

費目/細分	注意事項
資金	本事業のために同時に適用する場合のみ対象
共済費	本事業のための被用された資金額の事業主負担分のみ
報償費	社会保険料 本事業のための被用された資金額の事業主負担分のみ 会議出席料 有識者による審査、討論等 講師料 講習会・講習会における専門的なテーマで講演するもの 指導料 技術等の実践、指導等 原稿執筆謝金 外題論文（枚数200字以内） 和文英訳（1枚紙200ワード） 英文和訳（1枚紙400ワード） 翻訳謝金 その他の訳（1枚紙400字） 通訳謝金 英語以外の外語翻訳
文化財	TEL 03-3552-2222 (0800-18000-10-01918C) E-mail: <a href="mailto:info@2023shounan-koutaihyou.jp">info@2023shounan-koutaihyou.jp</a>
文部省	PONTA 認定NPO法人 <a href="http://www.ponta-npo.org">www.ponta-npo.org</a>
文部省	PONTA 認定NPO法人 <a href="http://www.ponta-npo.org">www.ponta-npo.org</a>
文部省	PONTA 認定NPO法人 <a href="http://www.ponta-npo.org">www.ponta-npo.org</a>

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



# 様式記入のポイント ー応募様式Dー

事業名（全体）を記載してください

全国各地の魅力的な文化財活用推進事業 事業概要書

応募様式D

事業背景 伝えたい文化的価値	●国指定重要文化財を有する「〇〇エリア」は、現在非公開物件が多く、その文化財の限定公開の許可を得ることで、今しか見ることができない貴重な体験 ●また文化財である〇〇家は、古くから城主をもてなしてきた文化があり、本事業では特別に当時のメニューを再現した「祝い善」も提供していく。		
1. 基本情報		(A-2) 事業計画書（全体）に記載の内容をまとめて記載してください	
事業主体	〇〇協議会	2. 高付加価値化のポイント	・これまで完全非公開であった〇×主屋を貸し切ってのガイドツアーを実施 ・ただ見学するだけではなく、動画や生活様式が理解できる新たな体験型のイベントにすることで外国人観光客の五感を刺激し、再訪意欲を高め立てる ・現代では再現が難しいとされた祝い善のレシピを使った食の提供で、日本食のルーツをも提供できるツアー構成とする
連携先	〇×市役所、株式会社△△	3. 収益を文化財に還元させるポイント	本ツアーを通じて得た収入の5%を市を通して文化財に還元する
核となる国指定等文化財	〇×主屋	4. 事業イメージ	事業の内容が分かるイメージ図、写真等を添付してください。
事業実施エリア	△△県××市	※ 入力にあたっては赤字説明文字は削除してください。また10.5ポイント以上で入力ください。	
企画の具体的な内容	××市には、市域の南部にあたる●●エリアをはじめ貴重な文化財が集積している。本事業はその文化財の本丸である〇×主屋をピックアップ。 この土地、この主屋で何が行われ、どのような生活を大切にしてきたか。 また、現代に受け継がれている歴史や、地域住民にとってこの場所がどのような役割を果たしているのか、その生活様式までも理解していただけるような内容を検討している。  外国人観光客は時代背景から理解いただく必要があり、多言語対応はもちろんのこと、時代背景がわかるストーリーを動画で作成。 その時代にあたかも本主屋に居たかのような世界観を醸成することで、没入感を作っていく。  同時に本年度内に〇〇家における祝い善のレシピを再現し、食文化も継承できるような体制を実施予定。		
総事業費	10,000,000円	事業の内容が分かるイメージ図、写真等を添付してください。	

※応募様式は公募開始時に一部変更している可能性があります

専門家・コーチによる伴走支援で助言が入る場合があります



# 全国各地の魅力的な文化財活用推進事業

## 受付期間

令和7年3月3日(月)～4月11日(金)**17:00 《締切厳守》**

- ・応募書類は、文化庁HPの「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」ページよりダウンロードください。
- ・提出は、締切までに必要な書類をすべて揃え、メールにて下記事務局まで提出してください。
- ・やむを得ない理由によりメールでの提出が困難な場合には、事前に事務局までご相談ください。

## 応募書類 提出先

「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」事務局

TEL : 03-3553-2222 (10時00分～18時00分、土・日・祝を除く)

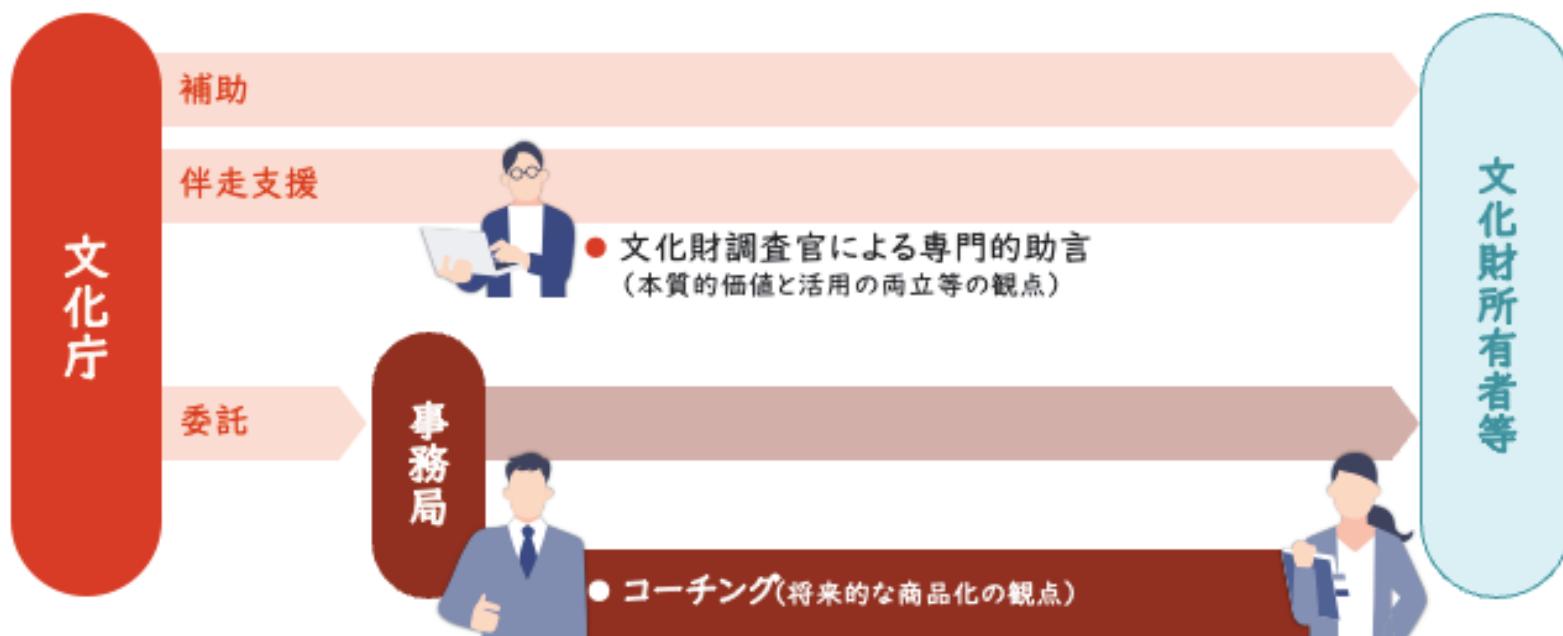
e-mail : [info2025@bunkazai-katsuyo.jp](mailto:info2025@bunkazai-katsuyo.jp)

「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」文化庁HP



## 伴走支援について

事業の成功・継続のために、本事業では民間の専門人材（コーチ）や文化庁の文化財調査官によるサポート体制を整え、事業者への伴走支援を行います。



※ご提出いただいた**応募様式A（事業計画書等）**の内容を基に、文化庁が指摘する項目・コーチング内容を付け加えていただき、アドバイス内容を**交付申請書**に反映して提出をしていただきます。交付申請書提出時に、事業計画の内容の変更が生じる可能性があることを予めご理解いただきご応募ください。